

49 肺音聴診について正しいのはどれか。

1. 正常では副雑音が聴取できる。
2. 正常では肺胞呼吸音が聴取できる。
3. 痰貯留部では高音性連続ラ音が聴取できる。
4. 喘息発作時は粗い断続性ラ音が聴取できる。
5. 空洞音では吸気で呼気よりも低い音が聴取できる。

50 神経障害の徴候でないのはどれか。

1. Froment 徴候
2. Homans 徴候
3. Beevor 徴候
4. Phalen 徴候
5. Tinel 徴候

51 反射・現象と誘発方法との組合せで正しいのはどれか。

1. Babinski 反射———足底踵部への刺激
2. Raimiste 現象———股関節伸展に抵抗
3. Chaddock 反射———脛骨内側縁への刺激
4. Strümpell 現象———股関節屈曲に抵抗
5. Marie-Foix 反射———足指の他動伸展

52 感覚低下と判定するのはどれか。

1. 閉眼させ足の第3指を動かすとどの指か分からない。
2. 針で皮膚を軽く刺激すると2～3秒遅れて痛みを感じる。
3. 10℃の水を入れた試験管で皮膚に触れると冷たいと感じる。
4. 背部で4cm離れた2点に触れると1点を刺激されたように感じる。
5. 音叉の振動音が耳元では聞こえるが乳様突起に当てると振動を感じない。

53 改訂長谷川式簡易知能評価スケール(HDS-R)にある項目はどれか。2つ選べ。

1. 文の復唱
2. 見当識
3. 数 唱
4. 書 字
5. 模 写

54 外傷と固定肢位との組合せで正しいのはどれか。

1. 脊椎圧迫骨折———脊柱屈曲位
2. 膝蓋骨脱臼———膝関節屈曲位
3. アキレス腱断裂———足関節底屈位
4. 足関節内果骨折———足関節背屈位
5. 腓骨筋腱脱臼———足部回内位

55 スポーツ外傷と強化すべき筋との組合せで誤っているのはどれか。

1. 肩関節前方脱臼———肩関節内旋筋
2. 肘関節内側側副靭帯損傷———手関節屈筋
3. 膝関節後十字靭帯損傷———ハムストリングス
4. 反復性膝蓋骨脱臼———大腿四頭筋
5. 前距腓靭帯損傷———腓骨筋

56 脛骨骨折後の尖足拘縮で短縮を起こしやすい筋はどれか。2つ選べ。

1. 前脛骨筋
2. 長指伸筋
3. 後脛骨筋
4. 長母指伸筋
5. 長母指屈筋

57 関節リウマチの薬物療法の目的はどれか。2つ選べ。

1. 炎症の鎮静
2. 筋力の保持
3. 変形の改善
4. 骨破壊の予防
5. 関節可動域の改善

58 熱傷部位と拘縮予防肢位との組合せで正しいのはどれか。2つ選べ。

1. 前頸部———頸部屈曲位
2. 腋窩部———肩関節外転位
3. 手背部———MP関節屈曲位
4. 大腿後面———膝関節屈曲位
5. 足関節部———足関節底屈位

59 左大脳半球の病変で出現しやすいのはどれか。2つ選べ。

1. 左右失認
2. 病態失認
3. 半側無視
4. 観念失行
5. 着衣失行

60 脳卒中片麻痺患者の麻痺側の肩の理学療法で正しいのはどれか。

1. 肩関節伸展運動は避ける。
2. 亜脱臼があるときは整復位で行う。
3. 関節可動域訓練では肩甲骨を固定して行う。
4. 麻痺側への寝返りでは麻痺側肩甲骨を内転位にする。
5. 自己介助による上肢挙上運動では反動を用いた方法を指導する。

- 61 立位保持困難な脳卒中片麻痺患者に対する傾斜台を用いた立位保持訓練の目的として適切でないのはどれか。
1. 尖足の予防
  2. 覚醒レベルの向上
  3. 立位感覚の維持
  4. 下肢の骨粗鬆症予防
  5. 膝関節伸展筋の痙縮抑制
- 62 顔面筋麻痺について正しいのはどれか。
1. 片側大脳病変では前頭筋麻痺が生じる。
  2. 片側橋病変では同側の顔面筋麻痺が生じる。
  3. 片側延髄下部病変では同側の顔面筋麻痺が生じる。
  4. 大脳病変では電気治療が有効である。
  5. 末梢性病変では顔面筋全体の同時収縮を促すように電気治療を行う。
- 63 Parkinson 病患者の歩行の特徴はどれか。2つ選べ。
1. 立脚側への体幹の側屈
  2. 腕振りの消失
  3. 体幹の前屈
  4. 反張膝
  5. 下垂足
- 64 Parkinson 病患者の理学療法で正しいのはどれか。
1. 安静時振戦には PNF が適応となる。
  2. すくみ足には外的リズム刺激が有効である。
  3. 無動が強い時期には立位でのバランス練習を行う。
  4. 幻覚が出現している時期には理学療法は行わない。
  5. 症候性の夜間頻回覚醒は日中の活動を促すことで改善がみられる。

- 65 多発性硬化症患者の理学療法で適切なのはどれか。
1. 球後視神経炎では眼帯をして運動療法を行う。
  2. 有痛性強直性痙攣に対して超音波療法を行う。
  3. Lhermitte 徴候に対して神経筋促通手技を行う。
  4. Uhthoff 現象が出現しないような運動負荷を行う。
  5. ステロイドパルス療法では直後から筋力増強運動を行う。
- 66 Guillain-Barré 症候群について正しいのはどれか。
1. 呼吸障害は合併しない。
  2. 先行感染症状がみられる。
  3. 軸索型の予後は良好である。
  4. 髄液中の細胞増多がみられる。
  5. 左右非対称に四肢の筋力低下が進行する。
- 67 脊髄損傷で自律神経過反射を認める損傷部位の下限の髄節はどれか。
1. C 6
  2. T 6
  3. T 10
  4. T 12
  5. L 2
- 68 脊髄損傷の異所性骨化で正しいのはどれか。
1. 関節周囲に熱感が生じる。
  2. 麻痺域の小関節に好発する。
  3. 血清カルシウム値が上昇する。
  4. 発生すれば関節可動域運動を中止する。
  5. 血清アルカリフォスファターゼ値が低下する。

69 頸髄損傷患者の排尿障害について正しいのはどれか。2つ選べ。

1. 排尿反射は下肢の反射よりも早く回復する。
2. 冷水テスト陽性は排尿訓練開始の目安になる。
3. 手圧排尿訓練には安定した座位保持能力が必要である。
4. 残尿が 150 ml であれば間欠的導尿は行わない。
5. トリガーポイントの叩打による反射排尿を指導する。

70 生後 11 か月の乳児に残存しているのはどれか。2つ選べ。

1. Moro 反射
2. 手掌把握反射
3. Landau 反射
4. Babinski 反射
5. 非対称性緊張性頸反射

71 遠城寺式乳幼児分析的発達検査表による移動運動の発達指標で「つたい歩きをする」の次に獲得されるのはどれか。

1. 2、3 歩歩く。
2. 靴を履いて歩く。
3. 2 足 1 段で階段を上がる。
4. つかまって立ち上がる。
5. 座った位置から立ち上がる。

72 痙直型両麻痺児の歩行の特徴で正しいのはどれか。

1. 体幹の動揺は少ない。
2. 肩関節は内転位になりやすい。
3. 肘関節は伸展位になりやすい。
4. 股関節は内転位になりやすい。
5. 膝関節は伸展位になりやすい。

73 Duchenne 型筋ジストロフィーのステージ4 (厚生省筋萎縮症研究班機能障害度分類による)で立位時にみられる特徴はどれか。

1. 頸部前屈
2. 腰椎前弯
3. 股関節過伸展
4. 踵 足
5. 足部外反

74 有酸素運動を用いたトレーニングの効果で正しいのはどれか。

1. 運動時の心拍数の増加
2. 嫌気性代謝閾値の下降
3. 安静時の二重積の増加
4. 骨格筋毛細血管密度の減少
5. 同一運動負荷での換気量の減少

75 体重 80 kg の患者に対して 5 METs の運動を 30 分処方した。

この場合のエネルギー消費量(kcal)はどれか。

ただし、1 MET は  $3.5 \text{ ml O}_2/\text{kg}/\text{min}$ 、酸素 1 l 当たりのエネルギー産生量は 5 kcal とする。

1. 70
2. 140
3. 210
4. 280
5. 350

76 薬物治療中の 2 型糖尿病患者の運動療法で適切なのはどれか。

1. 食前に行う。
2. 運動前に経口用オリゴ糖を準備する。
3. 最大酸素摂取量の 40~60 % の強度で行う。
4. 運動療法による消費カロリーを 1 日 300~400 kcal とする。
5. 冷汗が出たら両下肢を挙上する。

77 慢性閉塞性肺疾患(COPD)の腹式呼吸の目的で正しいのはどれか。2つ選べ。

1. 補助筋の筋力増強
2. 1回換気量の増加
3. 機能的残気量の増加
4. 横隔膜の上方移動拡大
5. 呼気時の気道内圧低下

78 急性心筋梗塞患者の自宅療養期の運動療法で正しいのはどれか。

1. 心筋負荷量設定には拡張期血圧が良い指標となる。
2. この時期の運動療法によって壊死部の再生が期待できる。
3. 運動強度は最大心拍数のおよそ30%が適している。
4. 下肢の筋力強化は静的収縮の多い種目を選ぶ。
5. 散歩は時間と速度とを決めて行う。

79 電磁波でないのはどれか。

1. 低周波
2. 超音波
3. 赤外線
4. 極超短波
5. レーザー光線

80 局所温熱療法の目的で正しいのはどれか。2つ選べ。

1. 痙縮の抑制
2. 浮腫の軽減
3. 創傷治癒の促進
4. 筋収縮速度の上昇
5. 膠原線維の粘弾性低下



81 超音波の非温熱作用が大きいのはどれか。

1. 皮 膚
2. 皮膚と皮下脂肪層との境界
3. 皮下脂肪層
4. 筋と骨との境界
5. 骨 髄

82 平地の運動と比較した水中の運動で正しいのはどれか。

1. 頸部の水位での運動では抗利尿作用が働く。
2. 膝関節の水位での歩行は下肢への抵抗が少ない。
3. 上前腸骨棘部の水位での立位は 50 % の免荷となる。
4. 乳頭部の水位での上肢挙上運動は心負荷が減少する。
5. 臍部の水位でのゆっくりした股関節外転は負荷が軽減する。

83 誤っている組合せはどれか。

1. 先天性股関節脱臼———リーメンビューゲル装具
2. 特発性側弯症———ボストン装具
3. 正中神経麻痺———Thomas スプリント
4. 関節リウマチ———フィラデルフィアカラー
5. Perthes 病———股関節外転装具

84 大腿切断術後の断端管理について正しいのはどれか。

1. 断端部の発汗異常には軽擦法が有効である。
2. rigid dressing では断端部の状態が観察しやすい。
3. 断端の成熟を促すために弾性包帯で浮腫を軽減する。
4. 股関節の内旋拘縮が生じやすいので外旋位を保持する。
5. 創部の伸張による痛みが生じた場合は安静固定とする。

85 長下肢装具の適応はどれか。

1. 筋萎縮性側索硬化症
2. 第2腰椎残存レベルの脊髄損傷
3. 関節リウマチで人工膝関節置換術後
4. 外傷性股関節後方脱臼で坐骨神経麻痺
5. 下肢Brunnstrom法ステージⅣの脳卒中片麻痺

86 膝装具の種類と適応との組合せで正しいのはどれか。

1. HRC膝装具———膝折れを防ぐ。
2. 膝蓋骨制動装具———外反動揺を防ぐ。
3. 支柱付膝サポーター———下腿回旋を制限する。
4. スウェーデン式膝装具———反張膝を防ぐ。
5. デローテーション装具———外側スラストを防ぐ。

87 脳卒中による片麻痺患者に対する両側支柱付短下肢装具で正しいのはどれか。

1. 急性期には適応とならない。
2. 痙縮の強い尖足に適応となる。
3. 重度の感覚障害は適応とならない。
4. 内反防止には内側にTストラップを用いる。
5. クレンザック継手の背屈角度は5°刻みで調整する。

88 アーチサポートの適応はどれか。

1. 小児の内反足
2. 成人の凹足
3. 外反母指
4. 足根管症候群
5. アキレス腱炎

89 車椅子のパーツについて正しいのはどれか。2つ選べ。

1. スカートガードは衝突時のガード板である。
2. トーストラップは足部が前方に落ちるのを防ぐ。
3. 転倒防止装置はティッピングレバーに取り付ける。
4. フットサポート(フットレスト)は下腿を後面から支える。
5. トグル型ブレーキは、レバーを強く引くほど制動力が大きい。

90 慢性呼吸不全で息切れのある患者の ADL の指導で誤っているのはどれか。

1. リーチャーの利用
2. かぶりシャツの着用
3. 手すりの設置
4. 洋式トイレの使用
5. 半身浴の励行

91 機能障害と自助具との組合せで正しいのはどれか。2つ選べ。

1. 片側上肢の切断—————プルトップオープナー
2. 両側上肢の切断—————台付きつめ切り
3. 一側上肢の運動麻痺—————ボタンエイド
4. 体幹バランスの低下—————補高便座
5. 四肢麻痺—————呼気スイッチ

92 Barthel index の下位項目で 10 点になるのはどれか。2つ選べ。

1. わずかな介助で食事がとれる。
2. 監視なしで 45 m 以上歩ける。
3. 監視なしで安全に階段の昇降ができる。
4. 介助なしで車椅子とベッド間の一連の移乗動作ができる。
5. 介助なしで通常着けている衣類、靴および装具の着脱ができる。

93 Lawton の手段的 ADL に含まれるのはどれか。2つ選べ。

1. 歯磨き
2. 服薬管理
3. 階段昇降
4. 浴槽の出入り
5. 公共交通機関の利用

94 国際生活機能分類 (ICF) における環境因子はどれか。

1. 対人関係
2. 支援と関係
3. 運動・移動
4. 学習と知識の応用
5. コミュニケーション

95 筋力について正しいのはどれか。

1. 徒手筋力テストは筋パワーをみる。
2. 最大筋力は筋断面積と相関する。
3. 最大筋力は関節角度の影響を受けない。
4. 最大筋力は心理的興奮の影響を受けない。
5. 筋力強化の目的は筋線維数の増加である。

96 筋力増強法の原則について正しいのはどれか。

1. 筋力増強初期の効果は筋肥大によって起こる。
2. 等尺性運動では最大筋力の 80 % 以上の負荷量を必要とする。
3. 筋収縮速度の違いにかかわらず筋力増強効果は一定である。
4. DeLorme の漸増抵抗運動では 1 RM の 50 % 以上の負荷量から始める。
5. 過負荷による筋損傷は求心性よりも遠心性の収縮で起こりやすい。

97 激しい運動時の呼吸循環応答で減少するのはどれか。

1. 脈 圧
2. 腎血流量
3. 脳血流量
4. 1 回換気量
5. 動静脈酸素較差

98 運動学習で誤っているのはどれか。

1. 自己効力感は動機づけを高める。
2. 誤差の平均値が減少すれば誤差のばらつきも減少する。
3. 運動中に生じた感覚はフィードバックとして利用される。
4. 指導者が頻回に与えるフィードバックは学習者の依存性を誘発する。
5. 右手で練習した技能が左手でも上達するのは学習の転移による。

99 動作と運動強度との組合せで正しいのはどれか。

1. シャワー浴————— 1 ~ 2 METs
2. 自動車の運転————— 3 ~ 4 METs
3. 盆栽の手入れ————— 4 ~ 5 METs
4. 階段昇降————— 5 ~ 6 METs
5. ラジオ体操————— 6 ~ 7 METs

100 理学療法士及び作業療法士法に規定されているのはどれか。 2つ選べ。

1. 業務上知り得た秘密を守る義務がある。
2. 国家試験の合格発表時から理学療法業務が可能である。
3. 業務以外の違法行為で免許が取り消されることはない。
4. 理学療法士でない者が機能療法士と名乗ることはできない。
5. 理学療法士が作業療法士の受験資格を得るには1年の教育が必要である。